

//////////////////////////////////////NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎0568-94-0119)

1月の「どんぐりsカフェ」から 高齢者の移動支える「かぼちゃの馬車」

1月の「どんぐりsカフェ」は、ニュータウンで高齢者のみなさんの移動をカーシェアで支えあうボランティア「かぼちゃの馬車」の代表、山東正樹さん(高森台3丁目)をお招きし、素敵なお話を聞くことができました=写真。

山東さんは、退職後の昨年1月にこの会を発足させました。1年後、会員は62名、ボランティア運転手さん10名(シェアカー9台)とのことです。さて、会員のみなさまの行先はというと、1位はやはり病院です。2位は高蔵寺駅。



3位は美容院で、ご利用の会員さんがやや高齢の女性が多いということでしょうか。原則としてニュータウン周辺ということですが、一番遠いところでは県営名古屋空港(1800ポイント)だそうです。利用するには、①会員の登録をする(1000円)、②ポイントを購入する、③行きたい所を事前に電話で申し込む、④利用してポイントで支払う、ということになります。入会案内は東部市民センターに置いてあります。ただし、車椅子での利用や緊急の場合は対応できないそうです。(杉山 裕章)

どんぐりsから

●昨年11月にNHKが放映した番組で、千葉県銚子市から利根川を越えた隣の茨城県神栖市へ5年間で1500人が移住したとの報道がありました。その背景に神栖市では保育料(1人目は3万円、2人目は半額、3人目以降は無料)や小中学校の学校給食費の半額免除など、恵まれた子育て環境を用意し、移住を促進してきたことがあったようです。

●1月22日、高蔵寺ニュータウン未来プラン策定検討委員会は若い世帯の流入促進など2016年度から10年間に行う政策を盛り込んだ「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を春日井市長に答申しました。この答申では2025年の人口目標値を現在よりも約3000人多い4.8万人、子育て世帯の割合を5.3%増の25%と設定しています。この目標値をどう実現していくのか、その具体的方策が問われます。

●春日井市は、2月~3月の期間に、この計画に対する市民からのパブリックコメントを求めるとしています。どんぐりsとしても積極的に対応していきたいと考えているところです。(藤城 榮一)

2月の「どんぐりS カフェ」

テーマ：高森台県有地のユニークな活用法
~「花咲か作戦」スタート
講師：林明代さん(高森台県有地の活用を提案する市民の会運営委員)
日時：2月20日(土)、13.30-16.00
会場：東部ほっとステーション(サンマルシェ南館、1階立体駐車場側入り口)
参加費：無料、当日受付

高齢者・すまい相談、困りごと生活相談

●まずはお電話ください：
080-4540-3553(どんぐりS事務局)
相談会日時：2月7日(日)、13.30-16.00
2月20日(土)、10.30-12.00
会場：東部ほっとステーション

「すまい・困りごと相談」8カ月 件数着実に増加

昨年6月に立ち上げた「高齢者すまい相談」も8か月が経過しました。この間、暮らしの困りごとに関する電話相談件数1件（医療・福祉施設に関する情報）、すまいの面接相談件数はのべ8件（6名）ありました。ただ、その内の6件は10月以降に集中しており、少しずつ宣伝の効果が表れてきているようにも思われます。

これまでのすまい相談内容は大きく二つに分かれます。一つは、すまい全体の改修に関する相談です。この中には現在住んでいる住宅が築30年以上経過していて、そろそろ全面的な見直しが必要なので、改修のポイント及びその金額及び業者を紹介してほしいという依頼や、市外に居住する両親の住宅（老朽化が進行）の解体工事費用とその妥当性に関する相談が含まれ

私の朝・昼・晩

グレイゾーンの時代

最近二つの気になる話を耳にした。一つは1月の「どんぐりsカフェ」での、高齢者同士の車の送迎問題。もう一つは空家のカフェやシェアハウスなどへの転用問題。この両者に共通するのは、どちらも切実な問題でありながら、現行の法的束縛によって、解決方法が見つからない、ということである。しかたがなく、現行法規に抵触しないような、ある種の隙間を突いた方法で凌いでいるのが実情である。

かって元気な人々があふれていた時代は、シンプルな法整備で十分対応できてきた。しかし、少子高齢化を迎えた現在、今までのようなサービスを提供する者と受ける者との二者対立軸だけではとうていカバーしきれないところまで来てしまった。いわばその上に複層化した法体系が必要になってきた。

業務を独占してきた専門職、たとえば教師、医師、弁護士、など今やその周辺にそれに似た専門職が育ち、今までの業務独占が許されない状況になりつつある。今、まさにグレイゾーンの時代へ突入し始めた。（寺島靖夫）

ています。もう一つは部分的な相談です。例えば、隣家の住宅解体工事に伴い擁壁が破損した、また、すまいの一部に害虫被害と思われる穴があいた、発生源が特定できない異常音で困っている、といった相談などがありました。

ニュータウンには、こうしたすまいや暮らしの困りごとがまだまだあると思われます。それらに應えるために、私たちの相談事業を広く知ってもらうための広報・宣伝のあり方、また、受け身の相談だけでなく、問題を掘り起こし、働きかけていく生活支援事業のあり方などを幅広く検討して、「すまい・困りごと相談」事業の発展充実を図っていきたいと思います。

（藤城 栄一）



おしどり（岐阜市・松尾池） 森 健

畑作り初心者も安心！ 「生き生き楽農会」新会員募集

どんぐりs環境部会傘下の「生き生き楽農会」は、一人でなく皆で楽しみながら野菜や果物づくりを行い、安心安全なまちづくり、環境保護を目的として活動しています。約30名の仲間達が美しい玉野地区の自然の中で、互いに教え合いながら栽培しているので、未経験者でも心配いりません。このたび一部空き耕作地（10～20坪）ができましたので、会員を募集します。夏野菜から利用できますので、是非、この機会に入会をお待ちしています。

連絡先：堀内 泰

携帯電話：090-1287-1258（月～土曜日 19時～21時、日曜日 9時～21時）

Eメール：yhoruichi1015@yahoo.co.jp